



しんち復興だより

第2号



発行:新地町復興推進課

平成27年9月

主な復興事業の実施場所

- 1 防災集団移転・作田東地区
- 2 作田東地区災害町営住宅

- 3 町道作田西線
- 4 (仮称)中島作田線
- 5 防災集団移転・作田西地区
- 6 作田西地区災害町営住宅
- 7 新地駅周辺被災市街地復興
土地区画整理事業
- 8 津波復興拠点整備事業
- 9 中島地区災害町営住宅
- 10 防災集団移転・岡地区
- 11 岡地区災害町営住宅
- 12 菱岩東地区災害町営住宅
- 13 小規模住宅地区改良事業

- 14 被災高齢者共同住宅
- 15 町道雁小屋北線
- 16 防災集団移転・
雁小屋地区
- 17 雁小屋地区災害町営住宅
- 18 防災集団移転・富倉地区
- 19 町道駒ヶ嶺新地線
- 20 (仮称)雁小屋南線
- 21 防災集団移転・雁小屋西地区

- 22 駒ヶ嶺原地区災害町営住宅
- 23 常磐道・新地インターチェンジ
- 24 常磐道・新地インターチェンジ高速バスストップ
- 25 一般県道・赤柴中島線

(事業番号の色の凡例)

- 設計、準備等
- 建設中(含、一部供用)
- 竣工、供用

- 26 磯山展望緑地
- 27 埴川(災害復旧)
- 28 三滝川(")
- 29 埴浜地区防災緑地
- 30 木崎地区海岸
- 31 作田前地区農用地災害復旧
関連区画整理事業
- 32 一般県道・金山新地停車場線
- 33 砂子田川(改修)
- 34 釣師浜漁港海岸
- 35 釣師地区防災緑地
- 36 一般県道・新地停車場釣師線
- 37 主要地方道・相馬亘理線
(バイパス整備)
- 38 主要地方道・相馬亘理線
(現道の改良事業)
- 39 臨港道路
- 40 釣師浜漁港
- 41 水産業共同利用施設
- 42 濁川(災害復旧)
- 43 JR常磐線駒ヶ嶺～
浜吉田間鉄道施設復旧
- 44 町道田中大戸浜線
- 45 大戸浜地区防災コミュニティセンター
- 46 漁業集落防災機能強化事業
- 47 町道宮田踏込畑線
- 48 防災集団移転・大戸浜地区
- 49 大戸浜地区災害町営住宅
- 50 町道大戸浜富倉線
- 51 富倉地区防災コミュニティセンター
- 52 町道大戸浜今泉線
- 53 立田川(改修)
- 54 地蔵川(改修)
- 55 相馬港

- 56 駒ヶ嶺地区
用排水路
整備



復興フラッグは、元々、被災直後に支援に入った自衛隊員がガレキの中に日の丸を見つけ、現場に掲げたもの。それから4年あまりを経た現在は、風雨で傷んだ旗を町内外の有志が引継いで代々掲げており、バイク愛好家を始め町外からの来訪も増えています。将来の存続に向け約4600名もの署名が町役場へ提出され、町では釣師地区防災緑地内に震災アーカイブとして存続する計画です(今は沿岸部工事の進行により、暫定的に役場前に掲げています)。

	番号	事業名	平成	平成	平成	事業主体	備考	
			26年度	27年度	28年度			
各事業の実施時期 ※現時点での目標です	1他	防災集団移転促進事業（7団地）	(移転者による住宅建設後、順次居住)			新地町	No.1,5,10,16,18,21,48	
	3	町道作田西線						
	4	(仮称)中島作田線						
	7	新地駅周辺被災市街地復興土地区画整理事業	(一部供用)					
	8	津波復興拠点整備事業	(一部供用)					
	9	中島地区災害町営住宅						
	13	小規模住宅地区改良事業						
	15	町道雁小屋北線						
	19	町道駒ヶ嶺新地線						
	20	(仮称)雁小屋南線						
	24	常磐道・新地IC高速バスストップ						
	25	一般県道・赤柴中島線						
	26	磯山展望緑地					福島県	
	27	埴川(災害復旧)						
	28	三滝川(災害復旧)						
	29	埴浜地区防災緑地						
	30	木崎地区海岸						
	31	作田前地区農用地災害復旧関連区画整理事業	(一部供用)					
	32	一般県道・金山新地停車場線						
	33	砂子田川(改修)						
	34	釣師浜漁港海岸						
	35	釣師地区防災緑地						新地町
	36	一般県道・新地停車場釣師線					福島県	
	37	主要地方道・相馬亘理線(バイパス整備)						
	38	主要地方道・相馬亘理線(現道の改良事業)						
	39	臨港道路(釣師浜漁港)						
	40	釣師浜漁港						
	41	水産業共同利用施設	(一部供用)			新地町		
	42	濁川(災害復旧)				福島県		
	43	JR常磐線駒ヶ嶺～浜吉田間鉄道施設復旧				JR		
	44	町道田中大戸浜線				新地町		
	46	漁業集落防災機能強化事業						
	47	町道宮田踏込畑線						
	50	町道大戸浜富倉線						
	52	町道大戸浜今泉線				福島県		
	53	立田川(改修)						
	54	地藏川(改修)						
	55	相馬港						
	56	駒ヶ嶺地区用排水路整備	(一部供用)			新地町		
	竣工事業	2	作田東地区災害町営住宅	6	作田東地区災害町営住宅	11	岡地区災害町営住宅	
		12	愛宕東地区災害町営住宅	14	被災高齢者共同住宅	17	雁小屋地区災害町営住宅	
		22	駒ヶ嶺原地区災害町営住宅	23	常磐道・新地インターチェンジ	45	大戸浜地区防災コミュニティセンター	
		49	大戸浜地区災害町営住宅	51	富倉地区防災コミュニティセンター			

〈凡例〉

- 設計、準備等
- 建設中
- 竣工、供用
- 復旧だよりの発行時点

1. 防災集団移転促進事業

津波被災した沿岸部から安全な地区へ集団移転を図る事業で、7団地が対象です。現在は全地区で宅地造成を終え、移転者による住宅建設が進んでいます。また、5つの団地では災害公営住宅も併設しています。



1. 作田東地区



5. 作田西地区



10. 岡地区



16. 雁小屋地区



18. 富倉地区



21. 雁小屋西地区



48. 大戸浜地区

3. 町道作田西線

防災集団移転の作田西団地の北東部から、北側の熊野地区や国道6号方面へつなぐ道路で、6月末に竣工・開通しました。



(←2015年7月)
(↓2014年12月)



4. (仮称)中島作田線

新地駅前の土地区画整理事業地区と防災集団移転の作田東団地とを結ぶ道路の整備を進めています。



7. 新地駅周辺被災市街地復興土地区画整理事業

移設整備されるJR常磐線と合わせて新地駅や駅前広場のほか、住宅ゾーンを始めとして、駅周辺の交流ゾーン、地域振興ゾーン、雇用創出ゾーン、防災ゾーン等を形成します。



8. 津波復興拠点整備事業

土地区画整理事業の一部区域で当事業を重ねて行い、駅の近くの交流センターや新地消防分署の建替えと合築する防災センター等の整備を進めます。

(防災センターのイメージ)



9. 中島地区災害町営住宅

新地駅周辺の土地区画整理事業地区内に災害町営住宅30戸の整備を計画しています。予定地は現在、盛土工事中で、平成28年6月頃の竣工をめざし事業を進めています。



13. 小規模住宅地区改良事業

津波により被災した住宅が多かった原添・八幡前地区において、緑地や生活道路など公共施設の整備を進めています。



(整備後のイメージ)

15. 町道雁小屋北線

防災集団移転の雁小屋団地から、県道・赤柴中島線への道路で、町の中心部方面へ行きやすくするため、拡幅工事をおこなっています。現在は第一期工事を終えた段階です。



(2015年5月)



(2015年2月)



(2013年9月)

19. 町道駒ヶ嶺新地線

防災集団移転の富倉団地に近い駒ヶ嶺新地線は、歩道が一部で未整備だったため安全確保にむけて歩道を整備しました。



20. (仮称)雁小屋南線

防災集団移転の雁小屋団地から、南側の総合公園周辺や相馬市方面へと安全かつスムーズに往来できるようにするため、新たな道路を整備します。

-3-

24. 常磐道・新地IC高速バスストップ

常磐自動車道を運行する高速バスへの乗降を可能とするため、新地インターチェンジに隣接してバス停と駐車場を整備していきます。



25.一般県道・赤柴中島線

国道113号と常磐自動車道・新地インターチェンジ付近の未改良区間(幅員狭小、線形不良)の解消を目的としてバイパス整備を行っています。



←国道113号→ 至,国道6号→

26.磯山展望緑地

埴浜地区と釣師地区の防災緑地の津波減衰機能や後背地浸水低減機能を補完するため、磯山地区に盛土や植樹を行い、浜通りの美しい景観を眺望できる緑地を整備しています。



(着工前の状況です)

27.埴川(災害復旧)

東日本大震災により被災した埴川の護岸と地盤沈下した堤防を従前の堤防高に復旧します。



28.三滝川(災害復旧)

東日本大震災により被災した三滝川の堤防の復旧とともに、海岸の防潮堤のTP=7.2mへの嵩上げにすりつくよう再整備します。



29.埴浜地区防災緑地

津波を減衰させ、市街地の浸水被害範囲を縮小し、避難時間の確保や漂流物捕捉により衝突被害を軽減すること等を目的として、埴浜地区の防潮堤の背後に防災緑地を整備します。



30.木崎地区海岸

東日本大震災の津波により被災した埴浜・木崎地区の防潮堤をTP=7.2mへ嵩上げ再整備します。整備にあたっては、防潮堤の勾配を緩傾斜にするなど粘り強い構造にします。



31.作田前地区農用地災害復旧関連区画整理事業

津波被災した農地の復興のため、ほ場の大区画化等による農業生産性の向上および担い手への農地集積の促進に向け、作田前地区で農地の区画整理等の基盤整備を進めています。



32.一般県道・金山新地停車場線

JR常磐線の移設と、新地駅前の土地区画整理事業に関連して、新たなルートで拡幅工事を行います(現町道を一部活用します)。また、現ルートのうち国道6号に接続する区間の拡幅工事は完了しました。



(着工前の状況です)

33.砂子田川(改修)

新地駅前の土地区画整理事業に隣接する砂子田川の治水安全度の確保を図るため河道を改修します。さらに海岸の防潮堤のTP=7.2mへの嵩上げにすりつくよう堤防を再整備します。



34.釣師浜漁港海岸

東日本大震災により被災した釣師浜漁港周辺の防潮堤をTP=7.2mへ嵩上げて復旧します。整備にあたっては、防潮堤の勾配を緩傾斜にするなど粘り強い構造にします。



35.釣師地区防災緑地

津波から市街地を守るとともに憩いや慰霊の場とするため、釣師地区の防潮堤の背後に防災緑地を整備します。地区内に植える木は「どんぐりプロジェクト」として、町民を始めとする方々のご協力を得て植樹や育成を進めています。



36.一般県道・新地停車場釣師線

JR常磐線の移設と、新地駅前の土地区画整理事業に関連して、新たなルートにより道路を整備します。この整備により、従前の釣師踏切を廃し、立体交差化します。



37.主要地方道・相馬亘理線(バイパス整備)



(作田地内)



(小川田中地内)

埴浜地区および釣師地区で津波被災した主要地方道・相馬亘理線について、JR常磐線の移設による旧線路敷地を利用し、バイパスを新設します。

38.主要地方道・相馬亘理線(現道の改良事業)

大戸浜地区より南の区間で高潮、波浪時に冠水する現道を嵩上げし、安全安心な道路を整備します。釣師地区や埴浜地区の小塚橋、曙橋、釣師橋も堤防整備と合わせて復旧します。

39.臨港道路

釣師浜漁港の背後に整備中の防災緑地から海岸の防潮堤を越えて漁港へ行く道路や港内の道路であり、防潮堤の工事と合わせて事業を進めています。



(ここに漁協がありました)

40.釣師浜漁港

東日本大震災により被災した護岸や南防波堤の嵩上げ復旧工事が完了し、漁業施設用地の舗装などの復旧工事に引き続き取り組んでいます。



41.水産業共同利用施設

福島県が進める漁港施設の復旧工事に併せて、漁協建物や漁具倉庫など共同利用施設の復旧工事に取り組んでいます。被災した漁協建物は解体を終えました。



(漁協の解体工事)



(工事中の漁具倉庫)

42.濁川(災害復旧)

東日本大震災により被災した濁川の護岸と地盤沈下した堤防を従前の堤防高に復旧します。



43.JR常磐線駒ヶ嶺～浜吉田間鉄道施設復旧

津波で全壊流失したJR常磐線新地駅の南側から、宮城県の大戸浜駅の手前までの区間の移設整備と前後区間の復旧がJR東日本にて進められており、平成29年春頃の開通をめざしています。



(工事中の新地駅ホーム)

44.町道田中大戸浜線

防災集団移転の大戸浜団地の北側から、役場方面へつながる道路の拡幅工事を進めています。また、この道路の田中地区では既存道路への歩道整備を行っています。



(防集大戸浜団地)

46.漁業集落防災機能強化事業

釣師浜漁港に近い大戸浜集落内において、被災敷地の復興と、安全・安心で災害に強い集落づくりを目指し、避難道路や漁具干場、作業場用地等の整備を進めます。



47.町道宮田踏込畑線

大戸浜地区の緑地広場から南へ向かい、さらに南側の防災集団移転団地に隣接する大戸浜富倉線へと接続する道路を2つの工区に分けて整備しており、北側工区は8月に開通しました。



(2015年9月)

(2014年12月)



50.町道大戸浜富倉線

防災集団移転の大戸浜地区から鉄道の上を越え富倉地区や総合公園への道路を拡幅整備中です。鉄道交差部に橋を架けるため、迂回や仮設道路の通行など、ご協力を得て工事を進めています。



52.町道大戸浜今泉線

防災集団移転の大戸浜団地の東側から、南側の今泉地区へと至る既存道路に10箇所程度の待避部を設置するなど通行を円滑化し、他の避難道路を補完する道路として整備していきます。



(着工前の状況です)

53.立田川(改修)

人家が連たんしている駒ヶ嶺地区の中心部を流れる立田川の治水安全度の確保を図るとともに再度の災害を防止するため、河道改修を進めます。



(着工前の状況です)

54.地蔵川(改修)

東日本大震災により被災した地蔵川の堤防の復旧とともに、河口付近の今泉地区では河道改修を行い、海岸の防潮堤のTP=7.2mへの嵩上げにすりつくよう堤防を再整備します。



(着工前の状況です)

55.相馬港

1～3号ふ頭の岸壁の復旧は全13バースが今年1月に完了し、新たに3号ふ頭第4号岸壁を5月に供用開始しました。引き続き4号ふ頭の整備を進めており、LNG基地の立地を支援していきます。



56.駒ヶ嶺地区用排水路整備

津波浸水や地盤沈下の被害を受けたJR駒ヶ嶺駅周辺の農地の復旧・復興を進めるため、排水路の拡幅および用水路の整備と共に安全施設等を整備します。



(着工前の状況です)

〈竣工した事業〉

45.大戸浜地区防災コミュニティセンター

津波で全壊した大戸浜公会堂について、防災倉庫を併設した防災コミュニティセンターとして緑地広場に移転整備しました。平成26年11月に着工、今年3月に利用を始めました。



51.富倉地区防災コミュニティセンター

津波で被災した富倉公会堂について、防災倉庫を併設した防災コミュニティセンターとして安全な場所に移転整備しました。平成26年11月に着工、今年4月に利用を始めました。



ピックアップ

〈災害町営住宅〉

町内では8つの災害町営住宅団地を計画し、そのうち7団地が完成して入居が進んでいます。また、5つの団地は防災集団移転団地に併設し、以前の近所づきあいを続けられるようにしています。なお、未建設の中島地区災害町営住宅(No.9)については平成28年6月頃の竣工をめざしています。

2.作田東団地

平屋建ての災害町営住宅6戸を作田東地区の防災集団移転団地内に整備しました。平成27年3月末に工事を終え、4月中旬から引き渡しを進めています。



6.作田西団地

平屋建ての災害町営住宅9戸を作田西地区の防災集団移転団地内に整備しました。平成27年3月末に工事を終え、4月中旬から引き渡しを進めています。



11.岡団地

平屋および2階建ての災害町営住宅14戸を岡地区の防災集団移転団地内に整備しました。平成26年末に工事を終え、今年1月末から引き渡しを進めています。



12.愛宕東団地

町の中心に近い愛宕地区に3階建て集合住宅タイプの災害町営住宅4棟30戸を建設し、平成25年12月から入居が始まっています。



17.雁小屋団地

平屋建ての災害町営住宅27戸を雁小屋地区の防災集団移転団地内に整備しました。平成26年に工事を終え、今年1月末から引き渡しを進めています。



22.駒ヶ嶺原団地

総合公園や、震災後に立地した渡辺病院に隣接する原地区に、平屋および2階建ての災害町営住宅6戸を建設し、平成26年1月から入居が始まっています。



49.大戸浜団地

平屋および2階建ての災害町営住宅11戸を大戸浜地区の防災集団移転団地内に整備しました。平成26年に工事を終え、同年末から引き渡しを進めています。

14.被災高齢者共同住宅

被災した高齢者単身世帯および夫婦世帯を対象として、台湾赤十字組織からの寄付を受け、小川地区に被災高齢者共同住宅22戸を整備し、平成25年11月に入居が始まっています。



23.常磐道・新地インターチェンジ(IC)

新地ICを含む、常磐自動車道の浪江IC～山元IC間が平成26年12月6日に開通、さらに翌年3月1日には残る区間も開通し、常磐道が全線開通となって首都圏や東北各地へ高速道路で繋がりました。

